

学校通信



喜多見



No. 2 令和7年5月27日

喜多見の学び舎
世田谷区立喜多見中学校
校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/

めざす「活気ある学校」の姿

校長 紺谷 祥一

新しい学年が始まり、生徒たちは新たな目標や期待を胸に希望に満ちた日々を歩み始めています。1年生を迎えての部活動も本格始動するなど、学年や学級の枠を越えた出会いがまた生まれています。生徒たちは、教室での授業のみならず、様々な活動の場面で一人ひとりが「自分の居場所」を見つけ、仲間との絆を深めます。とりわけ4月から5月は忙しい毎日の連続。先週までの運動会に没頭していたかと思えば、今週は気持ちを切り替え、中間考査に向けて集中する姿を捉えることができます。喜多見中には今、活気があふれています。



100点満点の生徒総会

4月25日(金)には生徒総会を開催しました。そこには、生徒の一人ひとりが学校をよりよくするために真剣に意見を出し合い、主体的に関わろうとする積極的な姿がありました。民主的な社会の一員、その担い手としての第一歩をしっかりと踏み出していたと高く評価しています。先行きが不透明な時代を生きて行かなければならぬ子どもたちにとって、「自ら考え、行動する力」や、「所属する社会の課題を“自分事”としてしっかりと捉えられる力」等は、非常に大切なものです。生徒会活動をはじめ、種々組織された委員会等の活動は、そうした力を育む機会でもあります。5月12日の朝礼で、私は改めてその素晴らしい生徒総会を振り返り、生徒たちを称えました。『圧巻を感じた場面は、ICT委員会と生活委員会からの答弁だった。タブレット文房具化の定着は委員会の努力で成し得るものではなく、みんなの協力で実現させるもの、という発言には胸を打たれた。また、現行の、生活委員会が昼休みの校庭開放に際してボールの貸し出しを管理している仕事に加え、体育館の開放も併せて要望された原案に対し、私たち生活委員も昼休みを楽しみたいのです、と本音で回答した場面もよかったです。強い信頼関係を感じる素晴らしい生徒総会だった。』――生徒会の本部役員や各専門委員会の長によるリーダーシップとフォローアーシップがしっかりと噛み合う様は、「自分たちの学校は自分たちで創る」という意識を高める貴重な機会となりました。



『最高に楽しかった！』

そして、迎えた運動会。講評でも触れましたが、今年度も個人種目のない団体競技ばかりの種目の中では、その練習過程においてたくさんの「心の通わせ合い」がありました。ここでも一人ひとりが力や意見、知恵を出し合い、心を通わせながら「作り上げる」行事に昇華させることができました。今年度の学校スローガンは「自己実現の達成」～壁を越えて～です。たくさんの生徒が“壁を越える瞬間”を経験できたのではないでしょうか。こうした体験を経ることで生まれる感動や達成感は、学年やクラスの垣根を越えた「心のつながり」として、これから学校生活の支えとなっていくでしょう。

学校は、学力を高める場であると同時に、人と人との関わりを学び、他者と共に生きる力を育てる場所であることを強く感じます。日々の諸々の教育活動学習を通じ、生徒たちが互いを尊重し、共通の事柄について自己の思いや考えをぶつけあったり、心を通い合せたりしながら成長していくことこそが、学校の意義であり、本校のめざす「活気ある学校」の姿です。子どもたちの頑張る姿やその笑顔は、私をはじめとする教職員一同の活力の源でもあります。子どもたちの無限の可能性を信じ、引き続き温かく、そして力強く支えます。

各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

教科「日本語」

1年生の様子から（渡邊訓子）

生徒たちからこのような質問を受けました。「もうオンラインでどんな言葉でも検索できるから、紙の辞書なんて必要あるのですか？」それを見て、私は「オンライン辞書、紙の辞書、どちらにも利点があるから、臨機応変に使い分けてほしい」と伝えました。中学1年生の最初の「日本語」の授業では、国語辞典を取り上げて授業を行いました。ねらいは「各国語辞典の個性を楽しみ、言葉に興味をもつ」です。確かに、紙の辞書は、言葉を引くときに手間がかかります。しかし、言葉を「探す」という作業の中で「情報」と「情報」が結び付き、言葉が自分のものになりやすいのです。その他にも、メリットとして、新しい言葉と出会う楽しさがあります。調べる中で紙面を俯瞰で見ることにより、新しい言葉の発見があるのです。例えば、最近『エモい古語辞典』という本を買ったのですが、そこに「遣(や)らすの雨」という言葉を見つけました。さて、どんな言葉だと思いますか。答えは「帰ってほしくない人を引き留めるかのように降る雨」です。限定されたシチュエーションで、かつ恋心を抱いている人しか使えない、なんとロマンチックな言葉ではないでしょうか。その他にも各国語辞典の個性や語釈の違いをお話ししました。生徒たちからは「楽しかった」「またこんな授業をやってほしい」と、とても好評でした。

2年生の様子から（佐々木里香子）

何かうまくいかないことがあった時に、「どうせ無理だ」「もうやりたくない」と諦めたり、投げやりになったりするのではなく、「どうすればこの状況を変えられるのか」としながら乗り越え、立ち直る力のことをレジリエンスと言います。

レジリエンス

今月開催された運動会は、中学生になり2回目の運動会ということもあり、多くの生徒が熱心に練習から取り組みました。しかしその分、自分の思い通りに事が進まないことや、友達と意見が食い違う場面が日々見受けられましたが、その度に、「もう嫌だ！」と愚痴をこぼしながらも、実行委員を中心として作戦会議を行う姿がどのクラスでも見受けられました。周りを責めたり、諦めたりしてしまうのではなく、自分で現状をどうにかしようとする姿に大きな成長を感じました。この成長は、今後の皆さん的人生の中で大きな糧になるはずです。ぜひ皆さんもこの機会に、運動会を通して自分や周りの人が成長したこと、2年生になってから成長したことに目を向けてみてほしいと思います。そして「お互いを高め合う」、そんな学年に成長することを願っています。

3年生の様子から（安達敬江）

3年生は今年度、すべての活動・行事に“中学校生活最後の…”という枕詞がつきます。今年初の真夏日を観測した5月20日（火）、3年生にとって中学校生活最後となる、第45回運動会が挙行されました。運動会の練習が始まった当初は、なかなか心も体もエンジンがかからず、学年全体が「まあ、そのうち何とかなるんじゃね?」（子どもたちの言い回しのままの表現）という他人事な雰囲気でした。それを素早く察知したのは運動会実行委員。クラス・学年練習の内容を考え、練習を引っ張り、盛り上げ、クラスメイトのフォローをし、さらに次の練習に向けて改善案を考え…、と毎日大変だったと思いますが、実行委員は本気で頑張りました。そんな実行委員の姿を見て、一人、また一人と本気になっていく生徒が増え、各クラスとも最高の団結力をを見せました。私が心に残ったのは、全員リレーの結果発表の最後で「全クラスともに違反はありませんでした」と、言った時に学年全員から大きな歓声が上がったこと、ムカデマスター2025で最終走者となったB組男子を皆で応援し、大きな拍手と歓声でB組男子をゴールで出迎えた生徒たちの笑顔でした。

応援される人・学年になる

学年目標の『応援される人・学年になる』を体現するその姿を見て、万感胸にせまるものがありました。子どもたちの成長を改めて強く感じました。運動会で結ばれたクラス・学年の絆を最後のその日までさらに強く深くし、最高の卒業式を迎えるためにこれからも学年全員で頑張っていきましょう！

E組の様子から（細井俊吾）

雨天順延となった、20日(火)の運動会は晴天で、とても日差しの強い中行われました。「晴れて良かったね」「雲1つないなあ」と青空に喜んでいた生徒も、「直射日光がギラギラと突き刺さる」と暑さを表現していました。そんな中、競技に対して集中して参加できた生徒も多く、「予想以上に面白かった」「不安だったけれど頑張れた」「意外と簡単だった」と、前向きな感想を聞くことができました。また、予行や練習だけの参加や当日の観戦席からの応援、開会式閉会式のみの参加など、それぞれの参加方法で頑張れた人もいました。

厳しい状況や課題をはねのけ、自分なりに参加し、目標を達成する。運動会期間を経て成長できたことを今後に活かし、トンボのようにさらに空高く飛んで欲しいと願っています。

最後にクラス旗の紹介文です。E組では空の水色をテーマにトンボの旗を作りました。トンボは前にしか飛べないことから「勝ち虫」として縁起が良いとされています。また、生徒それぞれの参加方法で参戦する気持ちを込めて、トンボの羽には生徒全員の好きな色で着彩し賑やかにしました。勝ちだけを求めるのではなく、それぞれで空高く飛びという願いを込めて『必翔（ひっしょう）』という文字を入れました。



第45回 運動会 大成功！「百花繚乱」の光景広がる

今年度も「団体競技しかない運動会」を通じ、子どもたちは賞を越える価値ある経験を手に入れた模様です。特に各学年のそれぞれの子どもたちの横顔が印象的でした。短い3年間の中学校でも、子どもたちの心身は非常に大きく成長することを実感させられます。生徒一人ひとりが、持てる力や知恵、思いを出し合い、心を通わせ、時間をかけて「作り上げた」この経験は、一人ひとりの心に深く刻まれることだと思います。

百花繚乱。一人ひとりの唯一無二の花が見事に開いた運動会は、大成功のうちに幕を閉じました。



オレゴン州ポートランド市マウントテイバー中学校訪問団の受け入れ（4/21・4/22）

今年度もアメリカ合衆国から楽しい仲間がやってきました。これで3年連続の訪問となりましたが、そのホスト役は毎年2年生が務めるのが恒例。今年度も、もちまえの企画力や組織力を活かしながら、楽しく充実した時間を共有することができました。

今年度は先方の都合で、2日間という短期間の訪問となりましたが、授業で机を並べ、給食を共にしたり、昼休みにサッカーと一緒に楽しんだりと有意義な時間を過ごしました。

また、今回も慶元寺さまのご協力により、茶道部は立派な茶室で日ごろのお稽古の成果を披露する「おもてなし」を実現させました。今回訪問の7名には、本校の7家庭の保護者の皆様がホストファミリーとしてご家庭に泊めていただき、ありがとうございました。地域ならびに保護者の皆様の御協力に心より感謝申しあげます。



キャリア教育の一環として、本校卒業生の活躍を発信するコーナー「**わたしのきたみち**」。今年度の第1回目は、小野 ●●さん（R.5年度卒）です。“挑戦してみることで出会える「壁」。それが自分を成長させる” — 先輩の実感のこもったメッセージに感謝です！

皆さんこんにちは、科学技術学園高等学校の2年的小野 ●●です。私は中学校の時に保健委員と卓球部に所属していました。私は中学校頃、消極的に自分から行動することは苦手でよく避けていました。しかし高校からは勇気を振り絞り、1年生の時は保健委員そして生徒会副会長に挑戦しました。保健委員のことは中学の時に経験をしているのでそこまで苦労することはありませんでしたが、一つ壁として現れたのが生徒会という壁です。私は初めての経験で人前に立つ時も緊張しており、生徒会活動では初めて見る仕事に苦労していました。しかしこれをチャンスと捉えて新たな自分になると決めました。ですが実際はそんなに甘くなく中学校よりも難しくなる授業つまり定期テストも難しくなるそこに加えて部活動、進路など様々なことが積み重なってきます。そこで皆さんに言っておきたいことがあります。



1つ目は新しいことに挑戦してみてください。初めてのことは失敗するのが怖く、失敗したらどうしようなど考えることがあると思います。ですがその気持ちを捨てて挑戦してみてください。そうするとたくさんの局面にあたると思います。その局面が自分を成長させ、経験となります。そして2つ目は時間を有効活用してください。学校では友達関係、勉強、部活動他にもたくさんことがあります。もし作業している間に暇だと感じる場合は勉強を優先してやってみてください。周りに笑われようが何か言われようが関係ありません。自分が今必要なことをやってみてください。そして酷い場合には誰かに相談してみてください。たくさんの選択肢があるのは今だけです、悔いのないよう中学校生活を送ってください。

授業方針やモットー、授業で特に大切にしていることなど、喜多見生への熱いメッセージを教科担当から届ける本企画、「わたしの授業」 — 今年度のトップバッターは、新規採用の岩原 寅之助 先生（1年副担任・英語科・バスケットボール部顧問）です。ぜひ毎号をお楽しみに！

私は英語の授業を通して、生徒にコミュニケーションを取ることの楽しさや素晴らしさを感じてほしいと考えています。近年、グローバル化が進む中で、英語は国際共通語として多くの人に使われています。しかし実際は、英語を母語とする人々は世界の英語使用者のうち、わずか4人に1人にすぎません。反対に言えば、世界で英語を話すほとんどの人は、英語を母語とせず、異なる言語や文化的な背景をもつ人々であるということが言えます。これを踏まえると、英語学習においては正しい文法や発音を学ぶこと以上に、「相手に伝える力」や「お互いに理解し合おうとする姿勢」が求められます。これはまさに「ELF(English as a Lingua Franca)」の考え方です。英語を「ネイティブスピーカーのように話すため」ではなく、「コミュニケーションをとるため」に学ぶということを意識してほしいと思います。そして、英語を手段としたコミュニケーションがとれるようになると、自分自身の価値観を大きく変えることができるきっかけにもなります。日本にいるだけでは経験できないようなこと、海外に目を向けてみることで新たに知ることはたくさんあります。そのためにまずは、生徒に英語の授業を通して、外国や異文化について興味を持ち、コミュニケーションを楽しんでもらいたいと思います。



道徳授業地区公開講座のご案内

東京都では、「家庭」「学校」及び「地域」が連携して子供たちの豊かな心を育むとともに、道徳授業の充実のために、道徳授業地区公開講座を全公立小中学校で開催し、保護者や地域の皆様との意見交換を通じて道徳教育の一層の推進をめざしています。

今年度のテーマは、「友情」— 本当の友情とは何か？ 友人関係における思いやり、信頼、助け合い等はどうあるべきか… 子どもたちの意見や思いを引き出します。

各学年の取り扱い教材名

1年生	「親友」
2年生	「松葉づえ」
3年生	「私がピンク色のキャップをかぶるわけ」

令和7年 6月 7日（土）

2校時（9:50～10:40）道徳授業公開（各学級）

3校時（10:50～11:40）意見交換会（図書館）

ご来校をお待ちしています！

いじめ防止講演会のご案内

本校では、月に一回の「きたみ人権デー」など独自の企画をはじめ、特に人権教育の強化推進、いじめの未然防止や早期発見の徹底、発生後の適切な対処等、定期的にいじめ防止に向けた取組を展開しています。今年度も1年生を対象に専門外部機関より講師を招きし、改めて「いじめ」と向き合い、子どもたちと共に保護者も学ぶ機会を設定しました。是非とも本企画にご参会ください。



日 時 6月16日（月）

午後1時35分～3時25分

対 象 1年生、保護者の皆さま

場 所 本校体育館

内 容 テーマ「お互いの境界線」他

講 師 湘南DVサポートセンター

瀧田 信之 様

6月の予定から

- 6月 4日（水）区立中教員研修会につき午前授業（給食なし）
- 5日（木）ネットリテラシー醸成講座⑥（1年生）
赤ちゃんふれあい体験②（3C）③（3A）
- 6日（金）SOSの出し方授業⑥（2年生）
赤ちゃんふれあい体験②（3B）③（3D,E）
- 7日（土）土曜授業 道徳授業地区公開講座 引取り訓練
- 9日（月）**1年生河口湖移動教室**（～11日まで）
- 11日（水）区立中教員研修会につき午前授業（給食なし）
- 13日（金）振替休日
- 16日（月）**いじめ防止講演会**（1年生⑤⑥）
- 17日（火）モーニング・キャリア
- 18日（水）**2年生 Catch Your Dream**②③
- 19日（木）きたみ人権デー（テスト1週間前につき部活動なし）
- 20日（金）**2年生マナー講座**⑥
- 26日（木）1学期末考査（～30日まで）※給食なし

6月の相談室

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 □	4	5 ○	6	7
8	9	10 □	11	12 ○	13	14
15	16	17 □	18	19 ○	20	21
22	23	24 □	25	26	27	28
29	30	1 □	2	3 ○	4	5

【担当SC】□：渡邊 ○：高瀬

直通ダイヤル 03-3417-5372

お気軽にご相談ください！